

藤沢市下水道管路施設の 包括的民間委託に関する説明会

2022年(令和4年)8月



藤沢市下水道マスコットキャラクター
「ふじまる」

藤沢市下水道部

目次

1. 藤沢市の維持管理の現状
2. 包括的民間委託とは
3. 対象業務等について
4. 業者選定方式について
5. 今後のスケジュール予定



1. 藤沢市の維持管理の現状

1. 藤沢市の維持管理の現状

下水道事業のあゆみ

昭和26年 雨水対策を主とした下水道事業に着手

昭和30年 南部処理区の事業認可(藤沢、鵜沼、片瀬地区)

昭和37年～ 南部下水処理場(現、辻堂浄化センター)の建設

昭和51年 藤沢市公共下水道基本計画策定(3処理区)

昭和52年 東部処理区の事業認可(柄沢、村岡、川名地区など)

昭和55年～ 東部下水処理場(現、大清水浄化センター)の建設

昭和60年 相模川流域処理区の事業認可(折戸地区)

平成9年 処理場名称を変更

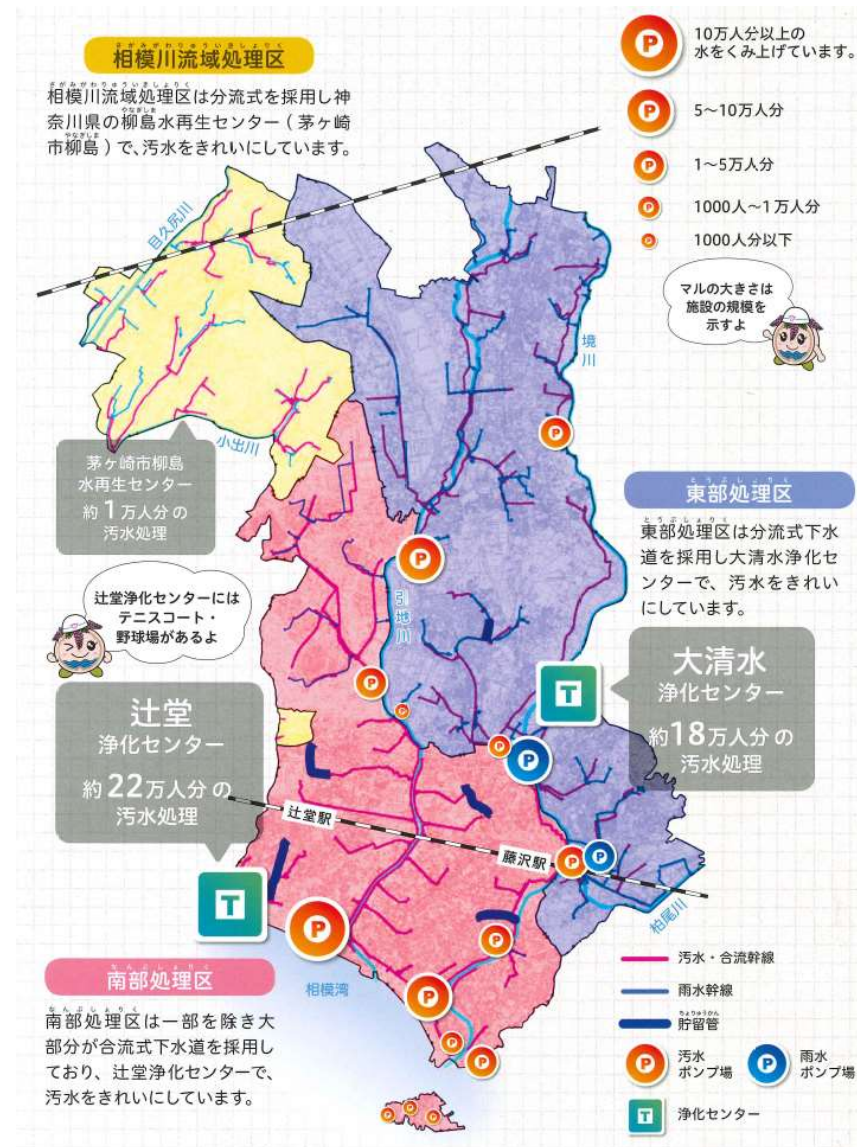
1. 藤沢市の維持管理の現状

下水道事業の整備状況

処理区	全体計画面積 (ha)	事業計画面積 (ha)
南部処理区	約2,385	約2,385
東部処理区	約2,775	約2,541
相模川流域処理区	約595	約373

処理区	管路延長		
	汚水・合流	雨水	合計
南部処理区	約558km	約110km	約668km
東部処理区	約557km	約317km	約874km
相模川流域処理区	約65km	約8km	約73km

(2021年4月時点)



1. 藤沢市の維持管理の現状

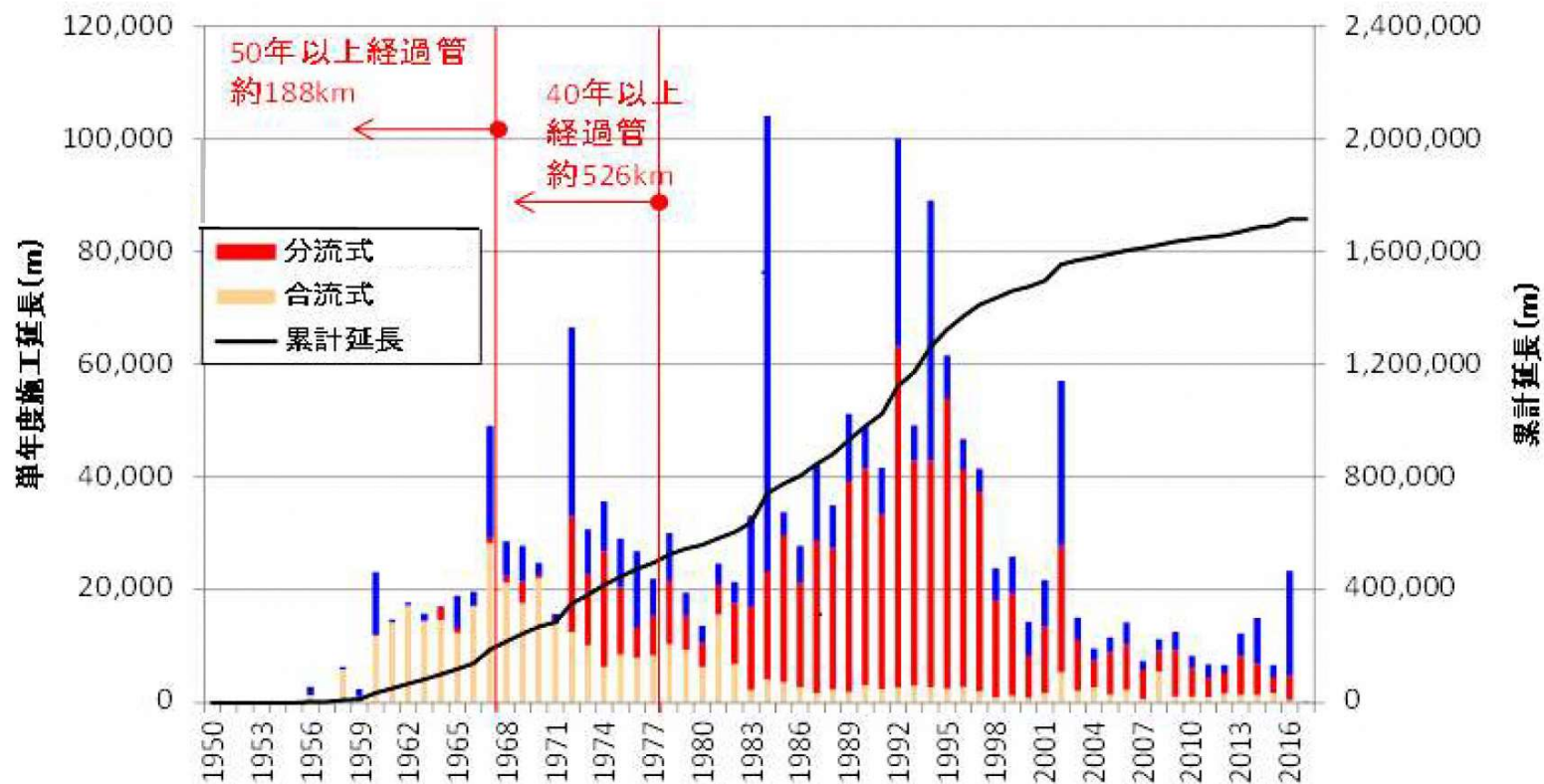
管路施設の状況

老朽化管路施設の急増

- ・市内には、下水道管きょ1,716.3kmが布設されている

※ 管路施設数は「下水道台帳データ（平成30年3月版）」による集計値で統計値とは異なります

- ・標準耐用年数（50年）を経過した管きょは、H30末で約188km（11%）
- ・今後10年間で50年経過する管きょは約526km（30.6%）となり、さらに急増する見込みです



1. 藤沢市の維持管理の現状

- 老朽化した下水道管路施設の増加
- 老朽化（腐食・破損等）により、管きよ閉塞や道路陥没等が発生しています



破損した下水道管路



道路陥没

下水道管路施設の適切な維持管理を行うためには、
「**予防保全型**」維持管理を定着させることが必要



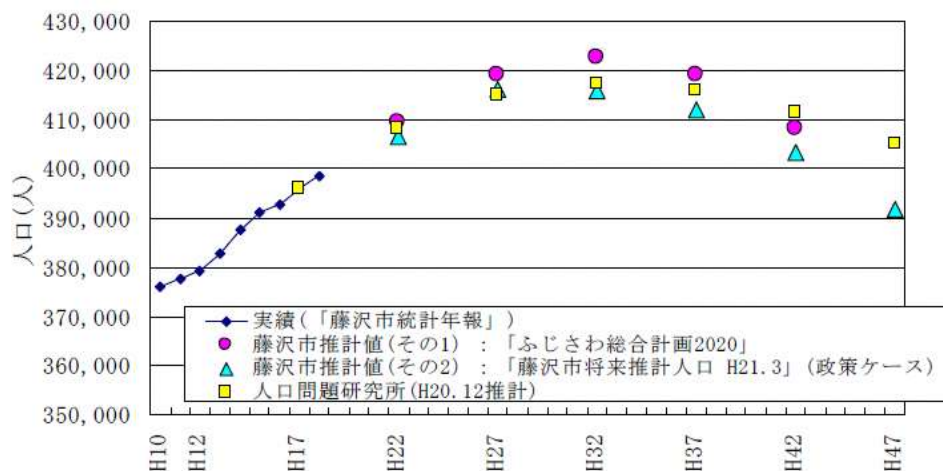
今後も増え続ける老朽化施設への対応として、
藤沢市下水道SM（ストックマネジメント）計画に基づく、
計画的、効率的な**事業推進体制の構築**が必要です

1. 藤沢市の維持管理の現状

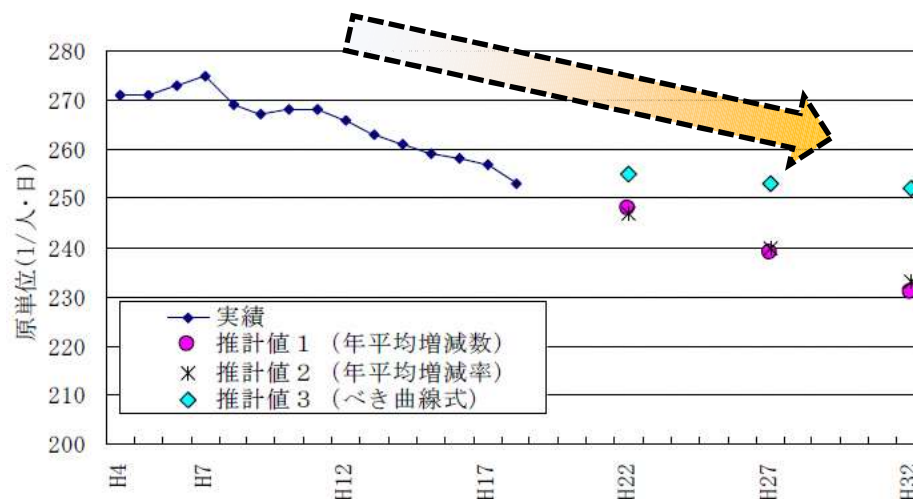
使用料収入の見通し

- ・ 今後、人口減少や節水傾向等により、使用料収入が減少

藤沢市の行政人口（実績値と推測値）



1人1日あたり生活污水量原単位（実績値と推測値）



出典：湘南ふじさわ下水道ビジョン

将来的な老朽化施設増加に対する**効率的な事業実施体制**が必要

1. 藤沢市の維持管理の現状

維持管理の今後の課題

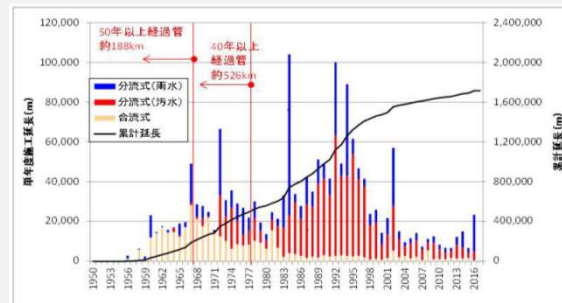
ヒト

下水道に係る職員数の推移は、平成6～7年度がピークの約120人在籍していたが、現在は1/3減少し約80人の体制であり、業務負担が増加

業務
効率化

モノ

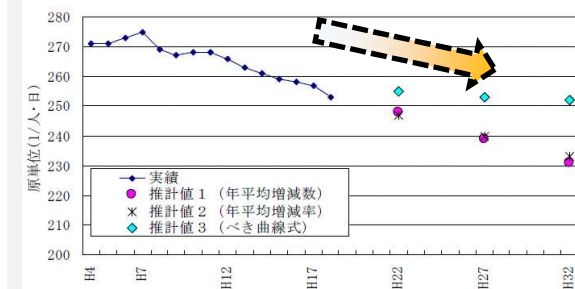
老朽化施設の急増による不具合の増加



民間技術
の活用

カネ

維持管理費用に対する
予算の確保



コスト
縮減

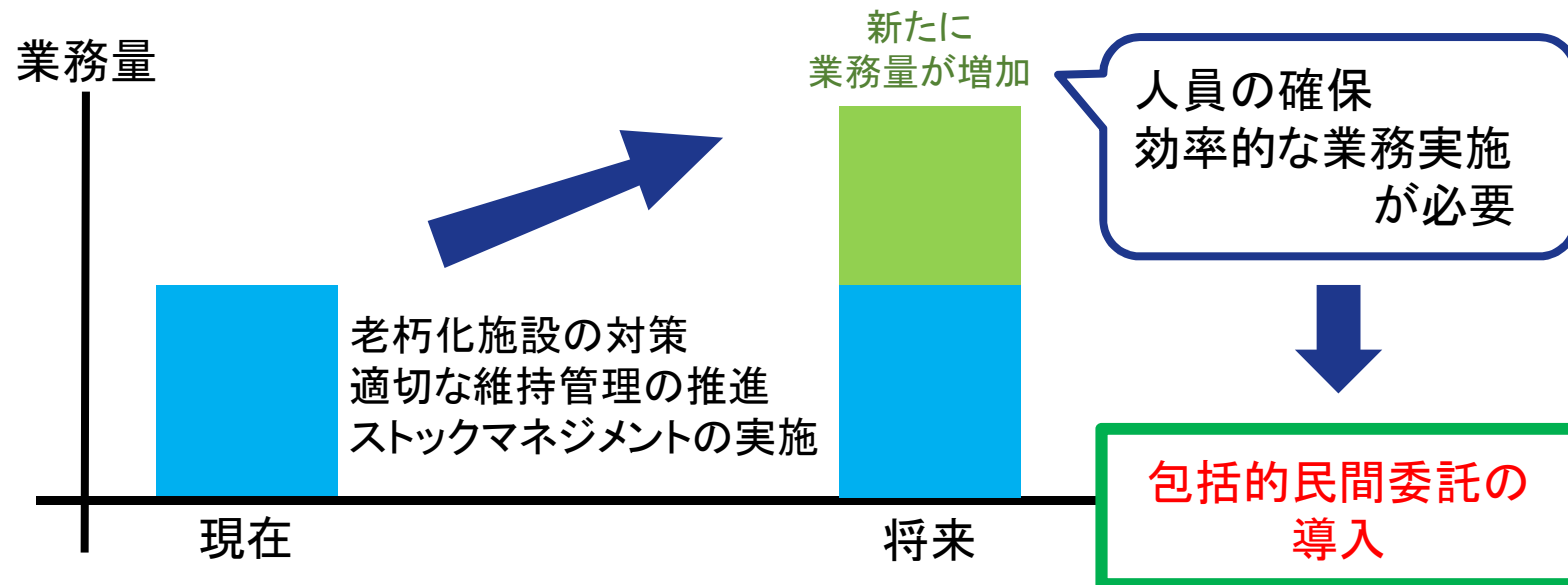
民間リソースの活用が可能な**包括的民間委託の導入**が必要

2. 包括的民間委託とは

2. 包括的民間委託とは

官民連携による包括的民間委託の検討

将来的にも課題となる**老朽化対策**、**適切な維持管理**に備え、官民連携手法の一つである包括的民間委託を検討しています



期待される効果

- ・維持管理コストの縮減
 - ・組織・業務のスリム化
 - ・人的資源の効率的活用
- など

2. 包括的民間委託とは

包括的民間委託とは

- ・複数業務をパッケージ化
- ・複数年業務として発注
- ・受託者の創意工夫を活かした効率的な業務の実施

包括的民間委託導入の効果

- ・業務の効率化、迅速化
- ・契約手続きに要する手間の軽減
- ・各社の新技術等を活かした事業実施

2. 包括的民間委託とは

地方公共団体の下水道事業の実情や課題を踏まえ、
包括的民間委託では複数業務をパッケージ化します

<従来>

※ 導入例 <包括>



パッケージの範囲 (例)

別途発注



2. 包括的民間委託とは

先行して導入した地方公共団体における業務パッケージの事例

●：委託業務 ×：委託業務外

業務項目		柏市	青梅市	河内長野市	堺市
計画的業務	巡視・点検	●	●	●	●
	調査	●	●	●	●
	清掃	×	●	●	●
	修繕	×	●	● (小規模)	●
	維持管理情報の整理	●	●	●	×
	維持管理計画の見直し	●	●	●	×
問題解決業務	不明水対策	×	×	●	●
	悪臭対策	×	×	×	×
住民対応業務	事故対応	×	●	●	●
	住民対応	×	●	●	●
	他工事等立会	×	×	●	●
災害対応業務	被災状況把握等	×	×	●	●
	二次災害防止等緊急措置・対応	×	×	●	●
改築更新業務	改築更新	●	×	●	●

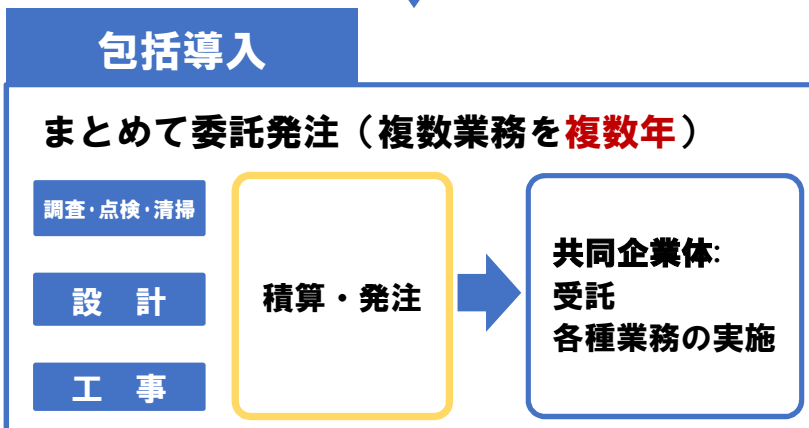
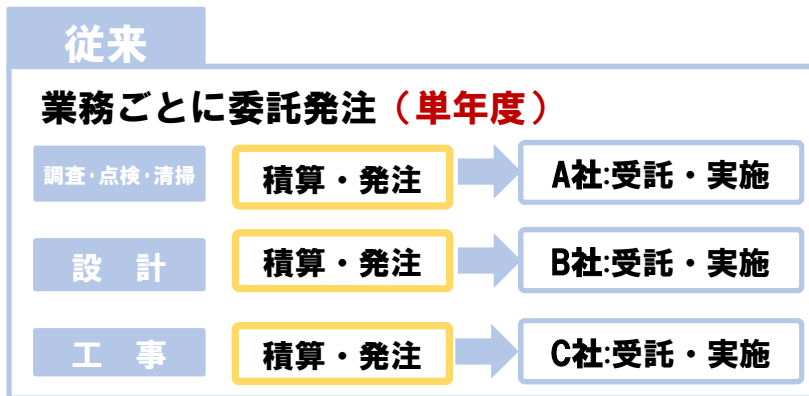
出典：下水道管路施設の管理業務における包括的民間委託導入ガイドライン（R2.3）_資料編（国交省）

2. 包括的民間委託とは

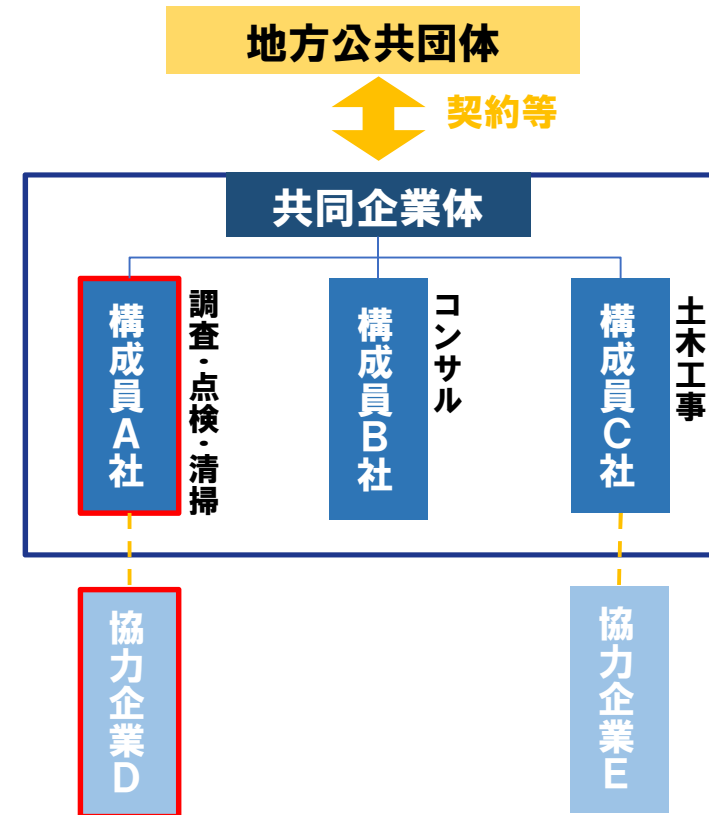
包括的民間委託

官民連携（PPP/PFI）手法の1つであり、**複数の業務**をパッケージ化し、**複数年**で一括発注することにより、民間リソースの活用により業務の効率化と質の向上が図られます。

発注方法等の比較



包括導入時の実施体制（イメージ）



※同種業務において、複数社の参画も想定される。

2. 包括的民間委託とは

包括的民間委託導入による 地方公共団体・民間事業者の主なメリット・デメリット

地方公共団体のメリット	民間事業者のメリット
<p>○サービス水準の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none">・限られた執行体制及び予算で予防保全型維持管理への移行	<p>○業務量及び雇用の安定確保</p> <ul style="list-style-type: none">・複数年契約により3～5年程度の見通しの明確化
<p>○民間ノウハウの活用</p> <ul style="list-style-type: none">・業務内容及び補修対応等の効率化、迅速化・適正化・技術提案等による技術力の向上	<p>○業務量の平準化（ワークライフバランスの改善）</p> <ul style="list-style-type: none">・委託期間の拡大による業務の平準化
<p>○経営面の改善</p> <ul style="list-style-type: none">・経費及びコストの縮減	<p>○収益改善</p> <ul style="list-style-type: none">・長期大口業務契約（消耗品・材料等）に伴うコスト削減
<p>○事務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none">・複数年契約による契約、事務手続き等の軽減	<p>○自社技術の活用</p> <ul style="list-style-type: none">・各社の新技術等を活かした事業実施
地方公共団体のデメリット	民間事業者のデメリット
<p>○事務が新たに発生</p> <ul style="list-style-type: none">・債務負担行為に対する手続き・契約履行状況を確認するためのモニタリングなど発生する・官民それぞれのリスク分担に関する検討	<p>○多岐に渡る業務に対応できる人材及びマネジメント能力の確保が必要</p>
<p>○技術力の低下が懸念</p>	<p>○共同企業体の構成に不安</p>

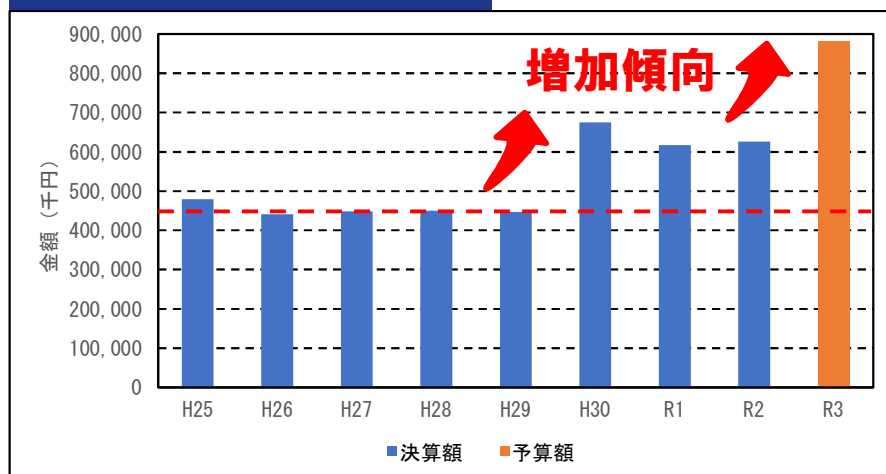
3. 対象業務等について

3. 対象業務等について

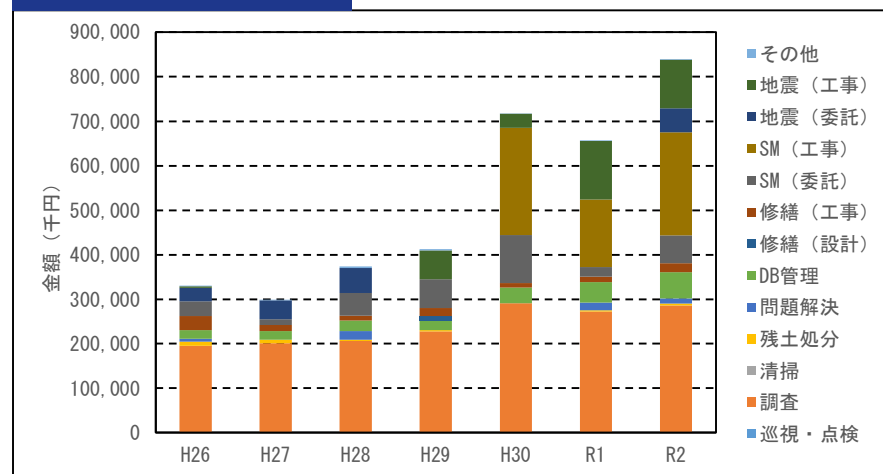
維持管理費の推移

- ・ 維持管理に係る費用は、H29まで4.5億円程度で推移しています
- ・ SM（ストックマネジメント）事業より、H30以降増加する傾向ですが、維持管理以外にも浸水、地震、耐水化などの対応にも迫られています

維持管理に係る費用の総額



計画的業務の内訳



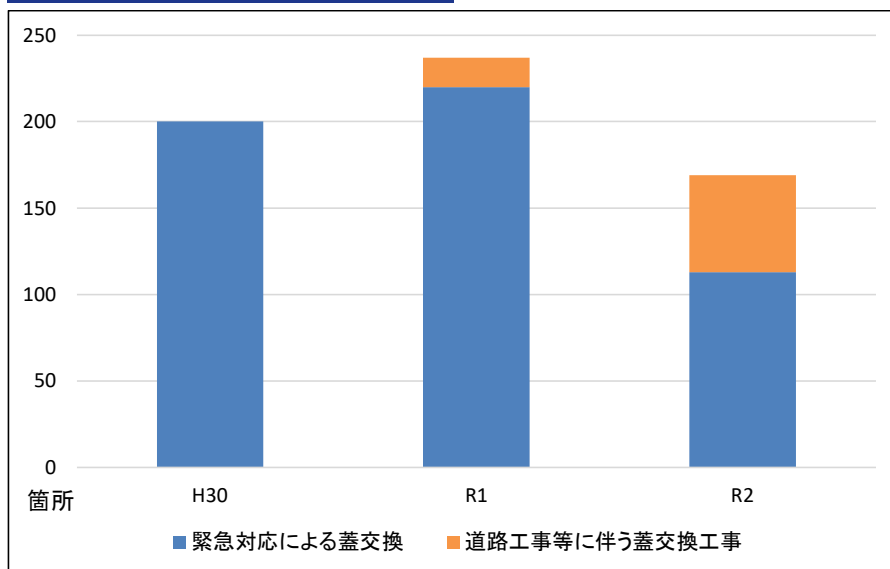
ストックマネジメントの実施により、施設の重要度や劣化状態の予測に基づき、**効率的・効果的な点検・調査・修繕・改築**を目指します

3. 対象業務等について

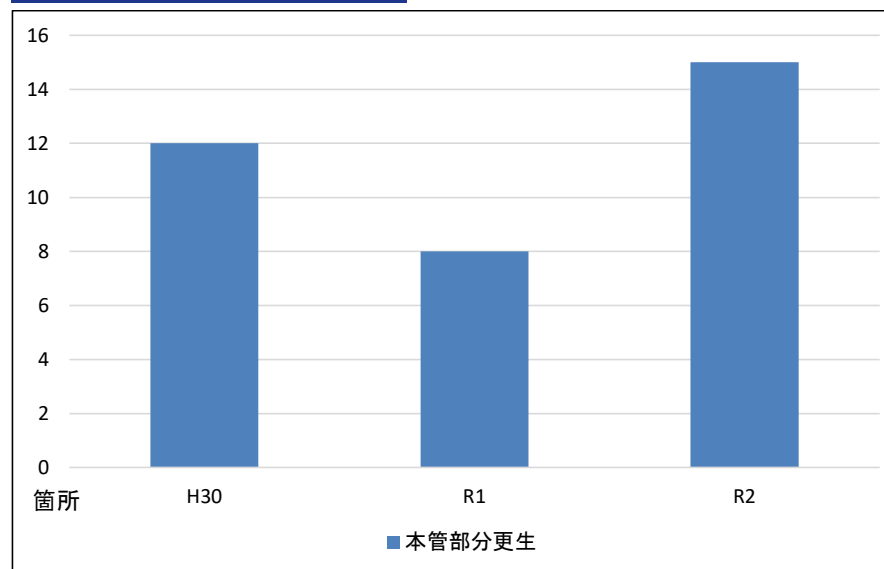
修繕におけるマンホール蓋取替、本管部分更生の状況

- ・ 緊急対応業務のなかでも処置対応方法が明確なマンホール蓋取替や本管部分更生については、毎年一定量の修繕対応を実施しています

マンホール蓋取替箇所数



本管部分更生箇所数



包括的民間委託業務に含め、計画的な調査とともに進めることで、**効率的・効果的に**適切な時期での修繕対応を目指します

3. 対象業務等について

藤沢市における包括的民間委託の概要

事業期間

3カ年間で想定

対象地区

市域全体を対象

対象業務

下水道管路施設の維持管理(現時点での想定)

- ・ストックマネジメント計画に基づく調査
- ・幹線管きよ、貯留管、雨水調整池などの大規模施設の点検・清掃
- ・ストックマネジメント計画の見直し
- ・一部の修繕
(本業務により発見した予防保全に資するマンホール蓋取替や
取付け管・管きよの修繕)
- ・改築に係る設計
- ・統括管理

3. 対象業務等について

藤沢市における包括的民間委託の概要

対象施設

管きよ、マンホール(蓋を含む)、ます及び取付け管、
圧送管、雨水調整池、貯留管、伏越し

施設		汚水	雨水	合流	備考
管きよ (幹線・枝線)	管きよ	○	○	○	
	マンホール(蓋を含む)	○	○	○	
	ます及び取付け管	○	○	○	
圧送管	付帯設備を含む	○			
雨水調整池	掘込み式		○		V=〇〇m ³ (マンホールポンプは除く)
	地下式(プラスチック製)		○		V=29,695m ³ (除塵装置は除く)
貯留管	鵜沼東部1号貯留管			○	φ 3,500、L=657.5m及び導水管 (マンホールポンプは除く)
	辻堂南部貯留管			○	φ 3,000、L=792.1m及び導水管 (マンホールポンプは除く)
	羽鳥貯留管			○	φ 4,000、L=700.8m及び導水管 (マンホールポンプは除く)
	藤沢西部貯留管			○	φ 4,000、L=586.3m及び導水管 (マンホールポンプは除く)
	山野神雨水貯留管		○		φ 2,600、L=596.0m及び導水管 (マンホールポンプは除く)

○ : 今回対象施設

3. 対象業務等について

藤沢市における包括的民間委託の概要

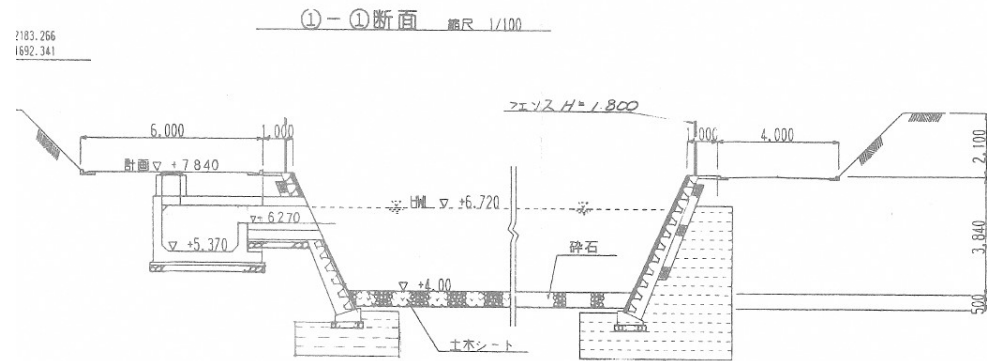
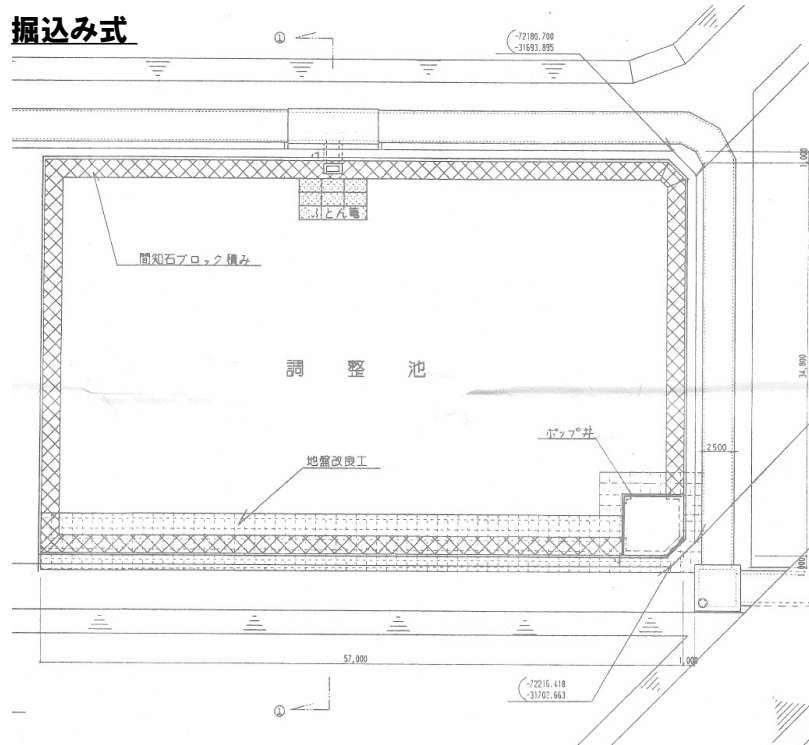
施設		汚水	雨水	合流	備考
伏越し (事業計画)	日ノ出橋			○	南部処理区、サイフォン
	市立西方公園内			○	南部処理区、サイフォン
	プレス工業株式会社藤沢工場西側角	○			南部処理区、サイフォン
	秋葉台中学校入口	○			南部処理区、サイフォン
	株式会社山武藤沢工場西側(柏尾川横断)	○			東部処理区、サイフォン
	中村橋(引地川横断)	○			東部処理区、サイフォン
	バストラル藤沢	○			東部処理区、サイフォン
	陣屋橋			○	南部処理区、サイフォン
	畑前(引地川横断)	○			東部処理区、サイフォン
	果樹園前	○			相模川流域処理区、サイフォン
	(有)藤沢市種豚センター東側	○			相模川流域処理区、サイフォン
	大清水中学校	○			東部処理区、サイフォン
	グレースィア鵜沼(江ノ電横断部)			○	南部処理区、サイフォン
	榎本商会(小田急横断部)			○	南部処理区、サイフォン

○：今回対象施設

3. 対象業務等について

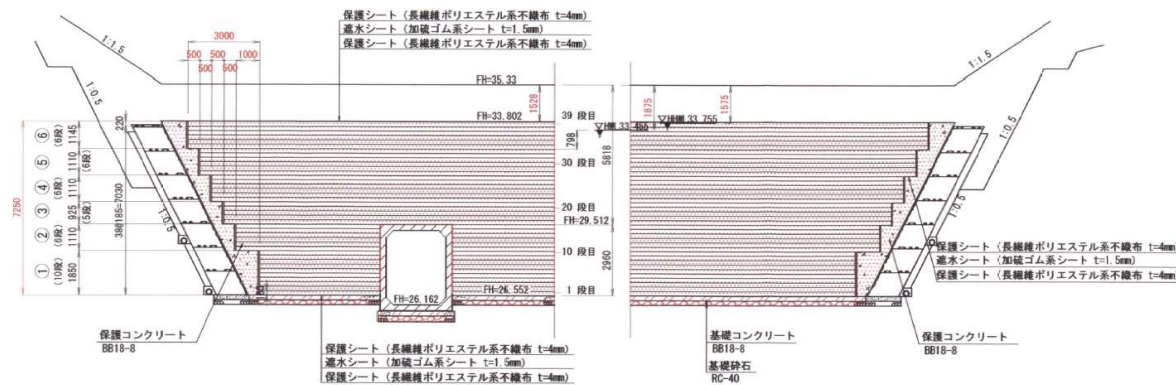
対象参考図: 雨水調整池

掘込み式

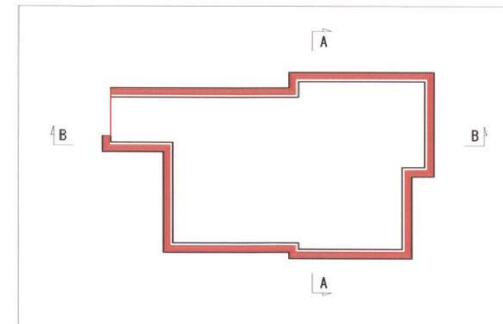


地下式(プラスチック製)

A-A 断面図 S=1:100



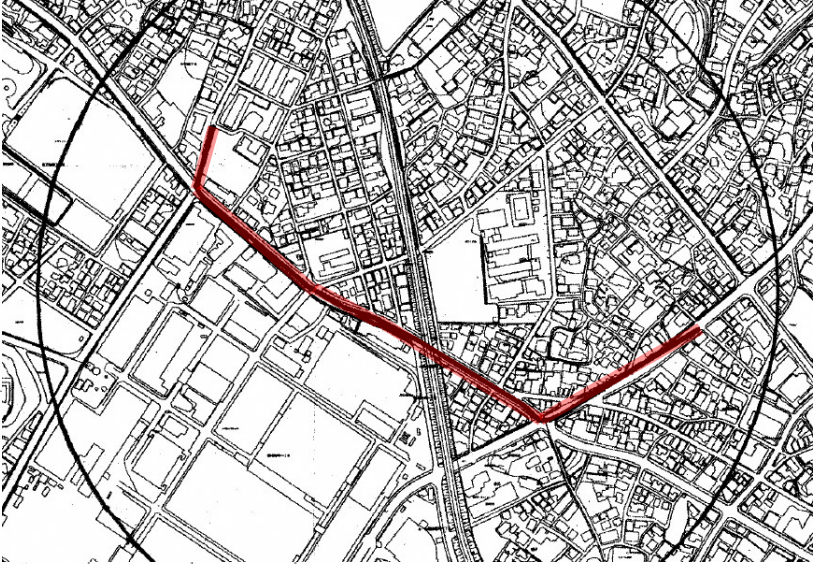
外形平面図



3. 対象業務等について

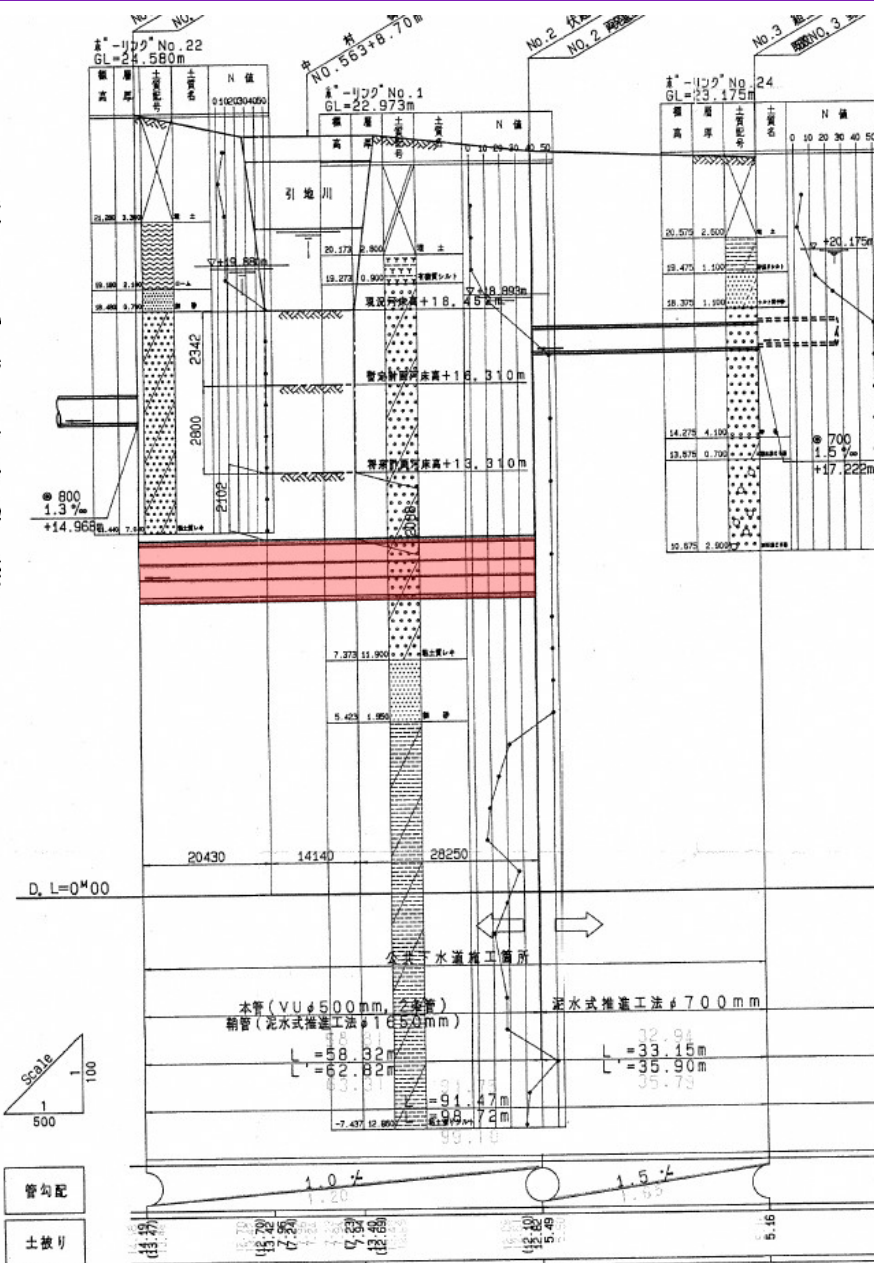
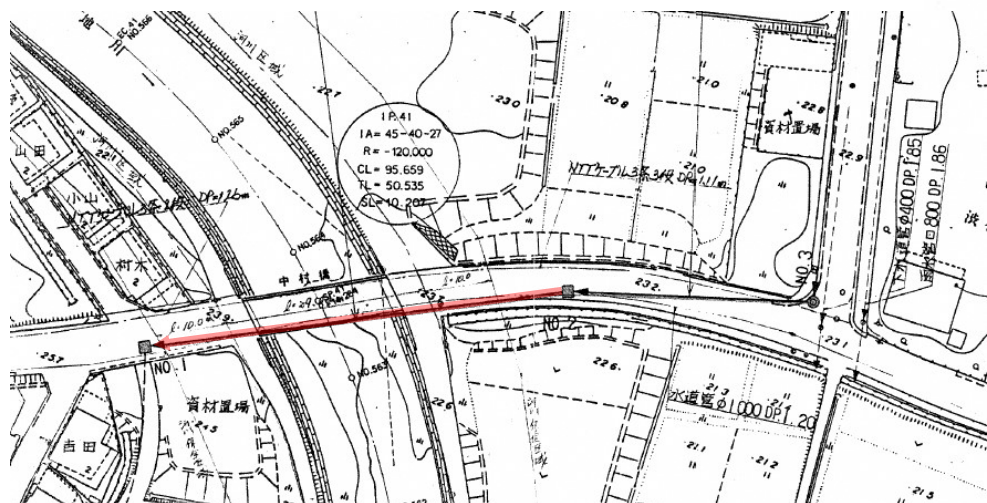
対象参考代表図: 貯留管

縦断面図(1) 縮尺 縦1/100 横1/500



3. 対象業務等について

対象参考代表図：伏越し



3. 対象業務等について

藤沢市における包括的民間委託の概要

対象業務

点検、調査(SM計画による50km/年)、清掃、修繕(一部)、
事故対応(発注支援)、設計業務(緊急度判定、修繕改築判定、詳細)、
SM計画策定業務、統括管理業務

施設		計画的業務				住民 対応 等 業務	改築 業務	計画 策定業務	統括管理業務						その他		
		点検	調査	清掃	修繕	発注 事故 支援 対応	設計 業務		スト マネ 計画 管路 施設	点 検 圧 送 管 含 む 計 画	業 務 全 般 の 統 括	デ ー タ ー ス 作 成 S M 計 画	業 務 計 画 書 報 告 書 作 成	業 務 従 事 者 の 教 育	次 期 委 託 の 提 案	業 務 の 引 継 ぎ	(災 害 時 訓 練 事 後 調 査 大 規 模 災 害 対 応 業 務
管きよ (幹線・枝線)	管きよ	△	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マンホール(蓋を含む)	△	○	△	△	○	○										
	ます及び取付け管	△	○	△	△	○	○										
圧送管	付帯設備を含む	○	-	○	-	-	-										
	雨水調整池	掘込み式	○	-	○	-	-										
地下式(プラスチック製)		○	-	○	-	-	-										
貯留管		○	-	○	-	-	-										
伏越し		○	○	○	-	-	○										

○：今回対象業務

△：今回一部対象業務（点検・清掃：幹線、修繕：調査箇所）

4. 業者選定方式について

4. 業者選定方式について

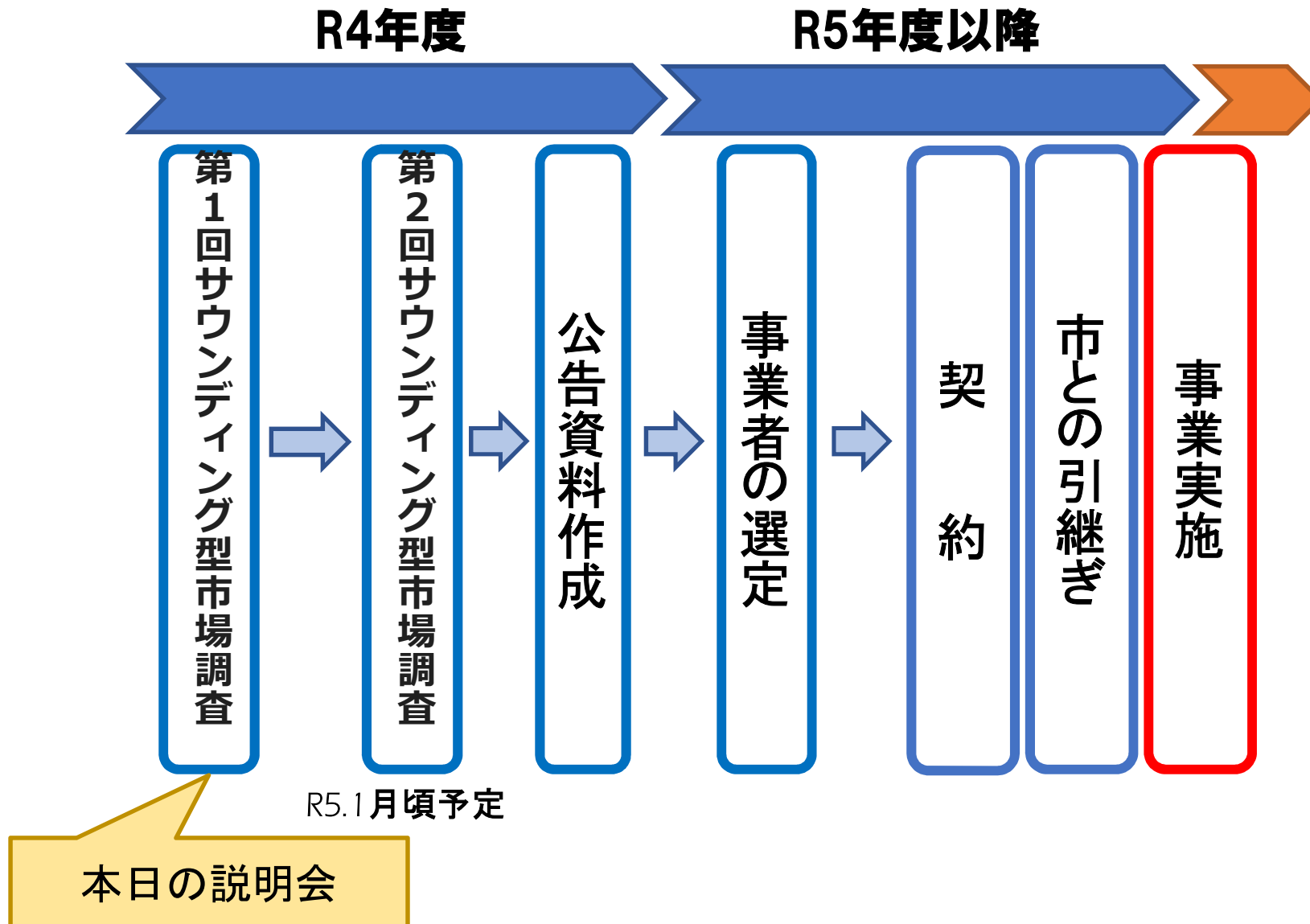
包括的民間委託の業者選定方式

民間事業者の有する技術能力を積極的に活用できる業者選定方式の採用を予定しています

	総合評価一般競争入札方式	公募型プロポーザル方式
概要	応募者の <u>価格と提案内容を点数化</u> し、点数が最高の応募者を選定	応募者の提案書を審査し、 <u>提案内容と価格の両面から応募者を評価</u> して、受託候補者の順位を選定
契約方式	<u>入札方式</u>	<u>随意契約方式</u>
選定手順	<ul style="list-style-type: none">・2人以上の学識経験者からの意見を聴衆した上で評価基準を決定し、その内容を公告・委員会を設置して事業者選定を実施し、<u>契約相手を決定</u>	<ul style="list-style-type: none">・予め評価基準を決定し、その内容を公告・委員会を設置して事業者選定を実施し、<u>優先交渉権者を選定</u>
契約方法	原則 <u>変更不可</u>	優先交渉権者との契約交渉において契約相手の <u>変更の余地あり</u>

民間事業者の創意工夫がなされるよう総合評価一般競争入札方式または公募型プロポーザル方式にて検討しています

5. 今後のスケジュール予定



アンケート調査の協力をお願い

アンケート調査の実施内容

藤沢市下水道管路施設包括的民間委託について、事業者のみなさまの参入意向や事業内容に対する提案等を把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

今回提示した内容をご覧頂いた上で、アンケートにご回答いただきますようお願いいたします。

※ アンケート用紙については、説明会終了後に下水道管路課ホームページに掲載いたします。件名を【鈴木宛】管路包括アンケートとしてお送りください。

【アンケート提出先・お問い合わせ先】

藤沢市 下水道部 下水道総務課

担当：鈴木

E-mail fj1-gesui-so@city.fujisawa.lg.jp

TEL: 0466-50-8246

【提出期限】

令和4年9月9日(金)午後5時まで

完

